

親和会総会・新年懇親会開催

東靴協会親和会の平成23年度の総会及び新年懇親会が2月15日箱根湯本温泉「南風荘」において19名が参加して開催された。

松戸氏の司会の下、小堤会長より「協会も一般社団法人化に向けて、ビルの耐震化など山積していますが、皆様の協力進めてまいります。本日はごゆつくりくつろいでください。」次に吉田弘氏より本日の会の経緯等の挨拶があり、続いて清水氏の音頭で乾杯をし、懇親会に入った。

震災後の景況や季節などの身近な話題など話が弾み気がつけば予定の2時間が経過し森理事の中めで会は終了した。

二次会は会場をクラブに変更し和気藹々の中自慢の喉を競い合い大いに盛り上がった。この会も年々参加者が減少しています。来年はひとりでも多



社団法人 東靴協会

機関紙

千代田区鍛冶町1-6-17
〒101-0044 ☎(3252) 5656

(3月号)



くのご参加をお待ちしております。

SF シューフィッター 勉強会開催

平成24年2月14日(火)午前10時より当協会西村記念ホールに於いて表記の勉強会が38名の参加で開催された。

シューフィッターの皆様へ
住所・勤務先等変更が生じた時は必ず協会までご連絡をお願いします

講師は日本靴小売商連盟SF講師、須藤教夫氏で「足と靴の知識を生かしたフィッティング」と題し足について、靴について計測方法など基本を再確認し、さらに技術の向上につながる講義となった。



講義内容は、足について20年前と比較、女性の足の傾向。靴の用途・フォーマル、カジュアル、スポーツなどを説明の後、靴合わせの準備として足について、靴についての履かせ方の基本などを左記の通り行なった。

1 ヒール部

ヒールカーブ・ヒールグリップについて

2 トウ部(つま先)

捨て寸(つま先の余裕)幅(第1趾側・第5趾側の圧

迫度)厚さ(第1趾・第5趾の高さ、爪に注意)

3 ボール部(ボールフィット)

(ボール部位置は靴のボール部と一致しているか)

足(底)幅の確認

4 インステップ部(甲部)

5 踏まず部(アーチ部)

体重負荷の状態で踏まずの確認。

6 クォーター部(履き口)

トップラインの状態

7 アライメント

靴と足の振りの関係

8 歩行

実際に歩いてもらい、踵が浮かないか? 振らつかないか? をチェック。

続いてビデオで画像を見て計測方法など確認してもらい計測の実習を行った。熱のこもった勉強会となった。



北海道シューフィッター養成講座開催

北海道では5年に一度行われているシューフィッター養成講座が2月20日(月)・21日(火)の2日間札幌の北海道経済センターで開催された。

主催は北海道靴小売協会、北海道シューフィッター養成講座実行委員会(札幌靴業組合・北海道靴卸商業組合・札幌商工会議所)。

日本靴小売商連盟・北海道商工会議所連合会の後援で開催、当協会では日本靴小売商連盟講師の小堤氏を派遣した。参加者は本講生23名、更新受講生69名の92名が参加しての開催となった。

中堅社員研修会 参加者募集

詳細は三面に



南三陸支援ツアーに参加して



世田谷の烏山駅前通り商店街では、東日本大震災の翌日から各店舗で募金箱を設置し義援金の募金活動を実施した。また、夏祭りやイベントの会場でも同じように募金活動を行い昨年末には二十万円を超える金額が集まった。その内約半分を東京都商店街連合会を通し被災地の商工会などに、さらに陸前高田商工会、大船渡商工会議所など我々商店の仲間に直接お送りした。そして復興が遅れているという情報から南三陸町へ支援することとなった。現地に問い合わせると現金より物資が希望だとのこと。なぜ1年近くなくても物資なのか疑問を持った。

何度か確認したが、やはり希望は飲料水をはじめとする物資だった。そこで直接希望の物資を現地へ運ぶこととした。商店街から5名、南三陸町と親交があった企業から4名さらにボランティアを募り10名が参加し総勢19名で2月18日の午前0時に物資を積み込み大型バスで現地へ向かい出発した。

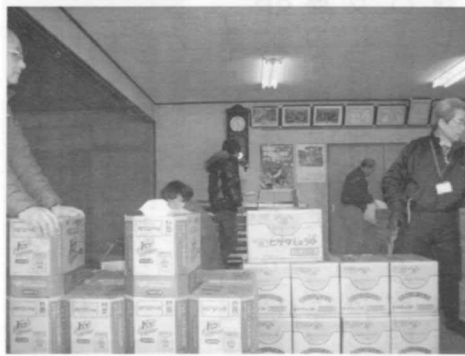
南三陸町は宮城県の海岸線にある町で南には石巻、北には気仙沼に挟まれた小さな町で復興が遅れているのだそうだ。車中泊し午前7時に南三陸町に到着した。はじめに鉄骨のみ残った町の「防災対策庁舎」で献花するところからスタートした。

一面基礎のコンクリートの土台だけが残った平地に鉄骨のみのビルの残骸がぼつりぼつりと残る様は津波の恐ろしさを思い知り異様な光景だった。瓦礫はコンクリート鉄骨・木材・車・タイヤなどきちつと分別を済ませ、それぞれが山と積まれていた。最終的にこれを処理するにも大変だ、復興にはまだまだ時間が必要だと感じた。その後ホテルにバスを停め、物資を軽トラック



に積み替え仮設住宅へ向かった。

周りを高い山で囲まれた地形のため津波も高くなり被害も甚大になった地域だ。仮設住宅も安全な山の高台に作られたため敷地も広く確保できないので小規模な住宅があちこちに点在していた。そこで生活している被災者は高齢者が多く買物に出る際も急な坂を上り下りし広い道路からバスを利用しないと町には出られない。しかも高齢者にとって重いものを持つて坂を登って帰るのは無理がある。いわゆる「買い物難民」だ。買い物は車を持つている人に頼んで買ってきてもうしかなかったのだ。ここでやっと現金より物資が希望という意味がわかった。支援物資はそれ



ぞれの仮設住宅をはじめ、公民館や生活センターなどの拠点まで運び。先に送っていただいた飲料水をはじめ砂糖、味噌、醤油、洗剤など被災者の方々総勢350名に直接手渡しした。

そこでのお年寄りの喜んでいただいた笑顔が忘れられない。途中、地元の商店8店がプレハブの仮設店舗で再開した場所を訪れた。励ますつもりが名産のわかめや味噌汁でもてなされ、逆に元気をもらったが、人がいなくなった場所での再建しても果たしてどれだけの売り上げがあるのか心配だ。



夕方ホテルに帰り食事の前に自立支援活動を行っているメンバーやワカメ養殖漁師の方と交流をし、復興の険しさと同

時に精一杯取り組んでいることを感じた。

翌日は大きな船が海から800メートルの内地に打ち上げられた気仙沼や大勢の子供たちが犠牲になった石巻の大川小学校の弔問などを行い帰路に着いた。

仙台・石巻など市街地は復興が早く景気も良いようだが、それも一部の地域で被災地全体の復興にはまだまだ、長い年月が必要で支援も長期にわたって続けていく必要がある。

★投稿募集★

これからも皆様に喜ばれる記事として、身近な出来事も取り上げてまいります。

街のこと、業界のこと、旅の思い出など、情報、投稿をお待ちしております。

震災以後の変化

東日本大震災の後、日本人の考え・価値観の変化があるとされている。

いわゆる本物志向の傾向が表れ、ものに対(3ページへ)

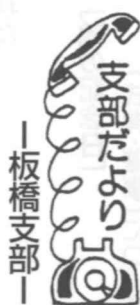
● 店舗情報 ●

ルミネ有楽町店
阪急メンズ館

西武有楽町店の閉店跡を、JRグループのルミネが2011年10月28日にオープンさせた専門店で、店舗面積は3,400坪、テナント数107店、初年度売上目標は200億円で、月坪にすると約50万円である。靴専門店が7店で、2階は「ファビオ・ルスコーニ・カスターニエール」(ハイブリッド・インターナショナル)と「トロカデロ by Human」の2店。両店ともインポート婦人靴中心で、価格は2万円から5万円位。

3階はピシヤ アバハウスと、ユナイテッドアローズのオデット デ オデイルである。ピシヤ アバハウスは1万5千円が中心で、国産、中国産が混在している。中国生産のシューズも完成度は高い。5階はかねまつ プールサイドとダイアナで、7階の雑貨ゾーンにはビルケンシュトックが来店している。開業時は大変な人出であったが、さすがに2月中旬は落ち着いてきている。向かいの阪急メンズ東京は有楽町阪急を紳士専門館にリニューアルしたもので、靴売場は地下1階である。高級

ブランドから、カジュアルのドクターマーティン、パラブーツ、スニーカーのニューバランス、スピン Gumupまで品揃えされている。3組ほど試し履きをしており、順調そうである。有楽町駅前ゾーンはこの2店の開業により、OL、キャリア層の集客が強まったと言われている。年齢層の高かった銀座ゾーンとの回遊も期待され、山手線東エリアでは、今まで以上に有楽町・銀座エリアへの集中が進みそうである。



板橋支部(長谷川孝一支部長)では、新春恒例の新年会を、若手にも参加してもらうため、懇親会の前にボーリング大会を行う企画で、二月二十四日に開催した。当日は前日からの積雪があり、寒さが厳しい一日でしたが、支部会員の半数が参加するという大きな催しとなった。

ボーリング大会も大熱戦を繰り広げ、プロでも難しいスプリットをカバーするという見事なプレーも出るなど、大変に盛り上がりがあった。

会場を移し、ボーリング大会の表彰式の後、二月の会計報告、役員挨拶、来賓挨拶と続き、乾



杯の後お楽しみの新年懇親会に移った。中華料理に舌鼓を打ち、和気藹々の中、楽しくも有意義なひと時を過ごした。

また、来年も開催することをお約束し、一本締めでお開きとなった。

支部長は「このような催しは、商店を取り巻く環境が厳しく商売が低迷するなか、非常に意義のある企画であると自負しております。」と言って



おられた。

板橋支部の皆様の発展をお祈りいたします。

☆☆参加者募集☆☆
☆☆中堅社員研修会☆☆

企業の人材育成の重要性がクローズアップされています。

そこで中堅・若手社員を対象に「中堅社員研修」を左記のように開催いたします。

今回は「ショップ店長のためのコーチング研修」を予定しています。

講師には高島屋グループの教育研修会社として実績のある(株)センチュリーアンドカンパニーにお願いしてあります。オーナーは勿論、将来の幹部、店舗の責任者など中堅の社員の皆様のご参加をお待ちしております。

◎開催日・4月19日(木)

午前10時～午後4時迄

◎会場 東靴協会

西村記念ホール

◎参加費 2,000(1名)

◎締切り 4月10日まで

先着30名

◎申込み 下記メールで

fax 03-6626-2156

info@toukutsu-kyokai.jp

東靴協会・中堅社員研修会へ

「(2ページより)する実用性機能性などが問われ、ただ安いだけの商品が見直されてきた。

また、「日経デザイン」の調査によると色の好みも大きな変化があるとのこと。震災前と比較すると震災後は緑を好む人が増え、その後ピンクに好みが移る傾向が明らかになったそうです。緑は安らぎの色。震災の甚大な被害の大きさ、物流等の混乱や停電などの不自由さ、原発事故など先の見えない不安な状態が続く中、心の安らぎを求め緑が好まれ、その後、家族や人との絆の大切さを感じ心のぬくもりを求めピンクが注目されていったよう

だ。ピンクを好む人は女性だけではなく男性にも多くみられる。

以前は女性はピンク男性は青、男性がピンクを身に着けるのは勇気が必要でした。

今では「ピンク男子」という言葉がファッション誌で見られるほどです。

色の好みには性差がなくなり、身に着ける色も男性だから青というような先入観から開放されてきたようだ。

理事会だより



平成二十四年二月二十三日(月)
午後一時半、西村記念ホール

小堤幸雄会長より「先日
箱根での親和会には多数ご参
加いただきありがとうございます。
また、3月15日の「靴の記
念日式典にも多数のご参加を
願います。」と挨拶があり、
議事録署名人を矢代氏、森氏
を選出し、川上久和副会長の
司会で議事に入る。

一、親和会の報告について

川上副会長から入院の為
責任者として参加できず申
し訳ないと陳謝。代理を務
めた吉田理事から当日の詳
細報告と挨拶があり、さら
に親和会への参加を呼び掛
けた。

二、委員会の報告・決議事項

について

☆催事・広報委員会

田中副会長より「とうくつ」
の当月、次月の編集内容と
その解説がなされた。教育・
研修委員会矢代副会長よ
り、本日午前に行われた委

員会での提案についての説明
があった。

①「中堅社員研修会」4/19(株)
センチュリー&カンパニーを招
聘、若手経営者や店長を対
象に開催。

参加費として2,000円
(昼食代含む)徴収し実施す
る提案。募集30名。(講習
で参加費徴収は事実上初め
て。)

②夏期学校「革」についての勉強
会「8/8、工場見学含む内
容で40名を参加限度とし
て全会員対象に無料で開催
する提案。満場一致で賛成さ
れた。

三、「靴の記念日」

(式典・催事)について

田中副会長より、本日配
布された印刷物と今回よ
り、靴の歴史や選び方など
啓蒙活動の公益目的事業と
販売促進活動の共益事業と
の区分けがされている内容
について、詳細なる説明と販
促関係の諸注意があった。

佐宗専務理事より、3月
15日「靴の記念日」式典につ
いて、今回は日本靴連盟大
野晴治会長(日本靴卸団体

連合会)の下、2年ぶりの開
催であつて、この「西村記念
ホール」をお借りしている
(社)東靴協会と日本靴小
売商連盟の役員会員は積極
的に参加されるよう要請が
あつた。一同、了承した。

四、シューフィッター養成講座

小堤会長より、2/20・21
北海道シューフィッター養成
講座の結果について、新規受
講23名、更新講習参加者69
名。

5年に一度の開催なので、
前日に札幌の岩井会長、大
塚製靴 半谷氏をはじめ実
行委員各氏ときめ細かく打
ち合わせをし、商工会議所
中小センターの助力も得て、
無事講座を終えることがで
きたこと。また、4月の近畿・
大阪講座、5月の東京講座
の予定について報告があつ
た。

五、平成24年度

事業計画書案について

佐宗専務理事より、理事
会に付議すべき平成24年度
事業計画書案について説明
があり、検討した結果、原案

通り承認された。

六、平成24年度

収支予算書案について

佐宗専務理事より、理事
会に付議すべき平成24年度
収支計画書案について、「一般
社団法人」申請を踏まえた
新年度の特記事項及び前
年度との差違について説明が

七、その他

佐宗専務理事より、理事
会の開催時間の変更につい
て、先の常務会で決議され
たものを報告。3月のスケ
ジュールの承認。

あり、検討した結果、原案通
り承認された。

東京都中小企業景況調査 (1月)

業 況：ほぼ横ばいで推移
見通し：10か月ぶりにやや後退

卸売業			業 況			
対象数	回答数	回答率	1 月		今後3か月間 見 通 し (当月比)	
875	335	38.3%	悪い	良い	悪い	良い
			-100	0	100	-100 0 100
衣料・身の回り品	1. 男子 服					
	2. 婦人・子供 服					
	3. 靴・履 物					
	4. かばん・袋 物					
	5. 装身具・身の回り品					
小売業			業 況			
対象数	回答数	回答率	1 月		今後3か月間 見 通 し (当月比)	
875	280	32.0%	悪い	良い	悪い	良い
			-100	0	100	-100 0 100
衣料・身の回り品	1. 呉服・服地・寝具					
	2. 男子 服					
	3. 婦人 服					
	4. 子供 服					
	5. 靴・履 物					
	6. かばん・袋 物					
	7. 雑貨・身の回り品					
	8. 時計・眼 鏡					
	9. ジュエリー製品					

景況についてのアンケート結果
(対象月…24年2月)

▶ 全体的な業況		
良 い	12.5%	
悪 い	62.5%	
変わらず	25.0%	
▶ 売上げ		
前月比	増えた	0.0%
	減った	75.0%
	同 じ	25.0%
前年同月比	増えた	12.5%
	減った	37.5%
	同 じ	50.0%
▶ 販売価格は前月比		
騰貴した	0.0%	
下落した	12.5%	
同 じ	87.5%	
▶ 販売経費は前月比		
増えた	0.0%	
減った	12.5%	
同 じ	87.5%	